

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

- ・ 毎年度末、1～3年次の教職課程履修者全員と、教職科目担当（教育学、教育心理学担当）教員2名は面談をしています。その中で、教職課程に関する相談を受けたり、学習指導をしながら、学生の要望をくみ取り、教員養成に係わる教育の質の向上に務めています。また、その際、「教職カルテ」に学生自身の自己評価を記入してもらい、1年間の学習を振り返ってもらうとともに、教員としても教職課程のあり方を検討しています。
- ・ 全ての授業を対象とした学生による授業評価アンケートの結果も、教職課程の授業改善に役立っています。また、大学の社会貢献活動や教育実習等を通しての現場の先生方との交流も本学の教職課程に生かしています。
- ・ 現職教員あるいは中高での教職経験のある教員に、生徒指導や授業の組み立て方など実践的な内容を教えてもらっています。また、授業に教職現場のさまざまな場面を想定したロールプレイを取り入れたり、教育時事に関するディスカッションを取り入れたりすることで、教員としての質向上を目指しています。
- ・ 卒業後すぐに教員を目指す学生には、放課後等を利用した教員採用試験対策ゼミナールを開催し、教育学・教育心理学等の知識を深め、それをもとに教育時事に関するディスカッションや模擬授業を行っています。